

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：石川

グループ： 4班

2022.10.2

オンラインと技術の未来

<学校とは？>

- ・ 人との交流を通じて社会性を学ぶ場
- ・ 自分が何をしたいのかを見つける
- ・ 大学に行くために勉強をする場
 - 今の学校は勉強を重視しすぎている
なのでディベートやコミュニケーション等
将来へと繋がる学習をもっと学びたい

オンラインについて

<メリット>

- 動画の活用→理解しやすい
- 様々な地域の人たちとの交流
- 板書の必要がない
- 暗記系の科目が覚えやすい（各教科の用語等）

オンラインについて

<デメリット>

- ・オンライン授業→毎日に面白味がない
- ・コミュニケーションが減る
→新たな出会いがなくなる
- ・授業の理解度が減る→モチベ×集中力な
くなる
- ・作業量が増える→ストレスがたまる

オンラインについて

<改善、理想>

- ・ オンライン授業を少人数で行う（5～6人）
→先生やほかの生徒との距離が近くなる
- ・ コミュニケーションができない
→様々な地域の人たちとオンラインで交流
- ・ 単純な作業等をAIに任せる
- ・ VR、ARを活用した活動
→オンライン部活や高度な授業

コミュニケーションの未来

- ・ 有用性が変わらない
 - 情報量が多く、伝達しやすい
- ・ ウイルス感染、詐欺サイト等のシミュレーション
 - インターネットを安全に利用するための授業
- ・ ウイルス対策ソフトの普及推進
- ・ オンラインとリアル
 - オンライン活動が増加するとともに
オフライン活動が減少

提言

ロボットやVRなどの製品を
誰もが日常的に使用できるように開発し
てほしい。